

情熱の羅金十盤

No. 5 (2023.06.27)

〔祥雲祭、終了！～歌声を夏空に響かせて～〕



6月16日（金）・17日（土）の2日間で行われた祥雲祭が、盛況の内にその幕を閉じました。前日までの怪しい空模様から一変、当日は灰色の雲を学みなながらも晴天に恵まれ、梅雨の晴れ間にしては暑すぎず蒸しすぎず、絶好の行事日和でしたね。

私たち1年次生の合唱コンクールも、そんな好天に負けないほど熱く、すがすがしく、そして素晴らしいものでした。コンクールである以上順位はつくものですが、どのクラスも渾身の合唱だったと思います。特に、例の“練習試合”を見てきた者からすれば、あの日から更にギアを上げて、見事に本番用に仕上げてきたなあということに感心しました。こちらの不安を良い意味で裏切ってくる、ここぞという時の祥雲生ならではの底力を、この年次もやっぱり持っていますね。

審査員の先生方からは、「どこもめっちゃ良かった」「それぞれのクラスの色がちゃんと出てるね」とお言葉をいただきました。本当に、私も同じことを思っていましたよ。多くの視線を背中に感じながら指揮をしてくれた人、1人で責任を背負って伴奏をしてくれた人、そしてクラスをまとめてくれた文化委員さんに感謝してください。

考えてみれば、ほとんどの人にとってこんなに大人数で合唱をするのは、人生で最後の機会だったかもしれません。大学ではコーラス系の部活やサークルにでも入らない限りはまずありませんし、社会人になれば尚更ないでしょう。校歌や国歌は歌ってても、パート分けなんてないもんねえ。

中学校の3年間は合唱や、そもそも大声で何かを伝え合うことを制限されていた人も多いでしょう。そんな皆さんの、最初で最後かもしれない合唱。夏空に響き渡った歌声は、まさに文化祭の、そして青春の象徴のように感じました。後に掲載するみんなの感想にもあるように、練習の中では苦労や大変さもあったでしょうが、それすらも素敵な思い出にしながら各クラスの結束を固めることができたこと、そして本番の晴れの舞台をたくさんのご家族の方々にもご覧いただけただけのことを、とても嬉しく思います。みんな、お疲れ様でした。

RS 祥雲祭・Competition Results

☆合唱コンクール☆

1位 … 2組「水平線」／指揮：上田 紗波さん 伴奏：貞廣 駿斗さん
2位 … 4組「空も飛べるはず」／指揮：池永 小咲寧さん 伴奏：大久保 里桜さん
3位 … 6組「ありがとう」／指揮：宮本 なお葉さん 伴奏：丸山 陽向さん

☆クラス旗部門☆

1位 … 6組（製作責任者：唐木 こはるさん 近藤 まりなさん）

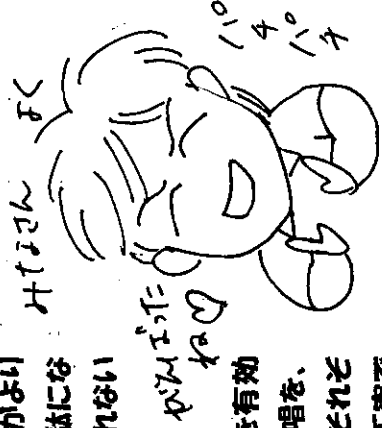
Congratulations!!

◆保護者の皆様へ…ご多用中にも関わりませず、大勢の皆様にお運びいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

〔祥雲祭を終えて～各クラスの文化委員たちの声～〕

★ 1 組 ★

・自分たちが率先して何かをしないとクラスの人たちもそれについてきてくれないので、みんなが練習に一生懸命になってくれるように様々な声かけをした。指揮者やパトリリーダーの人もそれぞれ以外の人も、一緒にたくさん声かけをしてくれて放課後練習を意欲的に取り組む人が多くなり、休日練習も多くの人が参加するなど練習が活発になった。合唱コンクールは、声が出るのは当たり前でそこからの表現の仕方が勝敗を決めたのかなと思う。私のクラスは残念ながら上位には入れなかったけれど、たくさん練習したからこそ団結力がより一層深まったので、結果は出なくても積み上げてきた時間や努力は絶対無駄にならないと思う。そして、頼りなく、声かけばかりしてうるさいなと思ったかもしれないけれど、最後までついてきてくれたクラスメートにはとても感謝している。



・祥雲祭で苦労したことはクラスをまとめて合唱練習を行ったり、短い時間を有効活用したりすることだ。最初は歌詞プリントを見てぶつぶつ呟くようだった合唱を、一つのまとまりのある綺麗な合唱にすることができたし、合唱コンクールではそれぞれのクラスの良さが歌声から伝わってきた。またクラス旗では、どのクラスも丁寧で個性あふれる素晴らしいものができていた。今回のコンクールでは順位が出て表彰などがあったが、協力し合い、みんなで練習を頑張った姿勢は勝敗関係なく思い出し続けて残っている。これからの行事も積極的に行動し、クラスらしさをより出せていきたいなと思う。

★ 2 組 ★

・どのクラスもはつきりと発音していて、聞きやすく、綺麗なハーモニーで感動した。どこが優勝してもおかしくなく感じるコンクールだったと私は思う。結果としては2組が、オリ合宿での校歌コンクールに続き優勝することができた。後で聞いた話だが、「校歌コンクールで優勝したクラスは、合唱コンクールでは優勝できない」と20年ほど言われ続けてきたジンクスがあるらしく、それを覆すことができたことも嬉しい。祥雲祭1週間前まで楽譜にしがみついていた私たちが良い合唱をすることができたのは一人ひとりの努力のおかげだ。来年の祥雲祭のことを考えたとってもワクワクしている、先輩たちのように楽しんで来しんでもらえる展示ができたらいいなと思う。私たちがらしいユーマーのある祥雲祭になればと思う。



・苦労したことはクラスをまとめることだ。例えば曲を選ぶ時も自分たちが率先してまとめ、クラスの意見を一つにしなければいけなかった。また実際に練習をする時も、しゃべっている人がいたら自分が注意しなければならず、なかなか静かにできずかなり大変だった。でも結果的に2組は優勝することができ、文化委員として表彰を受け取りに行ったことは貴重な体験だった。3年次のステージ発表は全て見た。どれも楽しく見られる演出があり、憧れるものばかりだった。自分が3年生になった時にどんな劇をするかは分らないけれど、今年の先輩に負けないような劇を作りたい。

★ 3 組 ★

・この祥雲祭でよくできたことは仲間との協力だ。クラス旗の制作や合唱の練習などの活動をする上で、みんなとの協力は不可欠だった。そして、多くの人が放課後に残って旗を作ったり、合唱の練習をしてい

たりした。そんな人たちの努力や協力があつたからこそ、素敵な祥雲祭にすることができたのだと思う。残念ながら入賞することはできなかったけれど、仲間たちとの仲をより深めることができたと感じる。来年からは先輩方のように、準備などがとても大変になる。だから、来年からより一層周りと協力し、みんなが楽しめる祥雲祭にしたい。

・入学してまだ2ヵ月ちょっとながら合奏ではどのクラスも何年も一緒だったんじゃないかと思うくらいに揃っていて、そこに感動した。もちろんどのクラスも最初は揃わなかったり男子がふざけたりしていて大変だったと思うけれど、2週間でレベルの高い合唱コンクールができたと思う。また、クラス旗では苦労があった。どんな旗が優勝するのか？ クラスの印象を出すにはどうしたら良いか？などを考えながら作っていたため、デザインが数回変わった。しかし、色塗りではかなりクオリティの高いものができたと思う。

★ 4 系目 ★

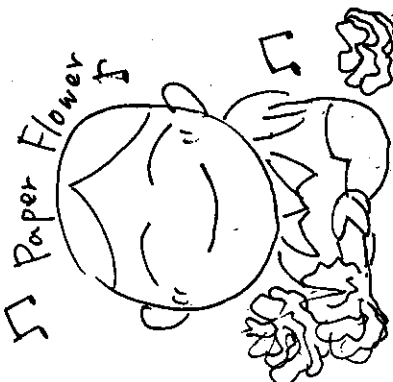
・合唱練習ではみんなの成長スピードがすごくて、歌いながら自分でもきれいにハモれているなと思っていた。4組は歌声をきれいにすることはもちろんだが、笑顔で、体が揺れるくらい楽しく歌うことを目指して頑張った。すると声も大きくなって、結果は2位をもらうことができた。2・3年次の展示やステージ発表は、私たちの来年、再来年のお手本だった。クオリティも高く統一感もあつてすごく良かった。文化祭では学校全体が一体になれるので、毎日文化祭がいーい！と思った。来年以降もとても楽しみたい。



・合唱を通して大変だったことは、練習の予定を立てたり、周りを見て行動したりすることだ。みんなに指示を出したりまとめたたりすることを重荷に感じることもあったが、少しずつレベルアップして、良い合唱になっていくのを感じると、大変ではあるけれども良かったなと思った。2組が優勝、4組は2位という結果で、正直とてもうれしいが、オリエンテーション合宿の校歌コンクールの3位より順位を上げることができた。4組のみんなと約1ヵ月の練習を重ね、『空も飛べるはず』を合唱できたことはとても最高で、大切な思い出だ。クラス旗では、期間内に完成できるときは不安だったが、みんなであーだこーだ言いながら色を塗ったり、他クラスの旗を作っている様子を見に行ったりした放課後は、青春しているなと感じることができて楽しかった。入賞はなかったが、手伝ってくれた、応援してくれたクラスメイトには感謝しかない。

★ 5 系目 ★

・私が苦労したと感じたことは、クラスをまとめることだ。最初は、文化委員が全部やらなければならないと思ってしまうと、クラス全体の気持ちや考えを尊重できていなかったように思う。しかし、合唱練習を重ねていくうちにパートリーダーの人や指揮・伴奏の人がたくさん協力してくれて、行事はみんなで作るものだというのを理解できるようになった。クラス優先の時に練習の計画を立てていく時間を無駄にしていたこともあったが、まるでバラバラだった音符たちが旋律に乗って綺麗なメロディーへと変化していくように成長できた。そう考えると、自分は旋律の役割を全



うできたと思う。結果はともあれ、クラスの友情を深められた祥雲祭にできたので良かった。

・旗作りは協力してくれた人がたくさんいたが、始まりが遅かったのがギリギリの完成となってしまった。次からは早めの行動と準備、計画をしたいと思った。合唱では最初は進行するのが難しかったが、練習を重ねるうちにクラス全体がまとまってきたように思えた。本番では今までで一番良い演奏ができたと思う。有志発表では皆が拍手などで盛り上げていたし、この日のためにたくさん練習してきたと分かる発表だった。今回の文化祭を終えて、来年はこうしてみたいといったアイデアも思い付いた。今年の2年次の展示を思い出しながら、来年は文化祭を盛り上げられるように頑張りたい。

★ 6 系目 ★

・私はクラスの仲間に感謝したい。合唱ではパートリーダーを中心に意見を出し合ったり、一人ひとりが参加しているという意識を持って練習をしたりして、互いに高め合うことができた。初めはバラバラだった合唱も、限りある時間の中で最高の状態まで作り上げることができたのは、間違いなくクラスメイトの協力があったからだ。クラス旗の製作でも、絵の具を持って来たり率先して手伝ったりして完成させることができた。この祥雲祭で、準備をとおして絆を一層深めることができたと思う。



・祥雲祭で最も良かったことは、周りのいろいろな人との協力だ。祥雲祭ではクラス旗や合唱、年次企画など、やることも多かった。その分、部活との両立など大変なことも多くあった。そんな中で、クラスのみんなと協力・分担して合唱では3位、クラス旗では全学年で1位を取ることができた。この結果はクラスのみんなが一致団結して練習し、楽しんでやった結果だと思う。なんやかんや協力し手伝ってくれて、頑張ってくれたみんなには感謝しかない。また、クラスメイトだけではなく同じ学年の文化委員のみんなとも、年次企画の制作を通して協力することができた。来年は先輩方のように自分たちで運営していく出し物になるので、どんな祥雲祭になるのかがとても楽しみだ。

※写真はみんなの笑顔と長文を書いてくれていますが、スペースの都合上、一部を抜粋・編集して掲載しています。文化委員さんたち、ありがとうございます！

【前期期末考査の時間割はコレだ！】

7月	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)	10日(月)
8:50~9:40 1限目	生物基礎	数学A	現代の国語	英語コミュI	数学I
9:55~10:45 2限目	論理・表現I	歴史総合	保健	言語文化	物理基礎
11:00~11:50 3限目	—	情報I	—	—	生徒会立会演説会

【お詫びと訂正】

「情熱の羅針盤」第2号、オリ合宿を振り返る記事で、合宿内で実施した祥雲クイズ王決定戦の優勝チームについて誤りがありました。記事では5組1班が優勝と記載しておりましたが誤りで、正しくは5組4班でした。大変遅くなってしまいました。お詫びとともに訂正致します。5組両班の皆さん、すみませんでした。

